

2026 VOL.23

1/2
新春号

だより 便利堂 京都

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

ナカニ

注染手ぬぐい◎「ものづくり」「より」ひとづくり」という思いを大切に

HAPPY NEW YEAR 2026



【大特集】季節のおすすめ商品

桃山の美術

今年大注目のイチオシ◎狩野永徳／長谷川等伯／海北友松ほか
絢爛豪華な桃山の美術を手軽な美術商品で味わおう！

日本文化の美とともに
歩み続けて139年



アートのある暮らし

◎オーガニックコットン小風呂敷

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしたに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らす日常風景をご紹介します。



写真・山内泰誠(便利堂写真工房)

新しい年となりました。本年も京都便利堂をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

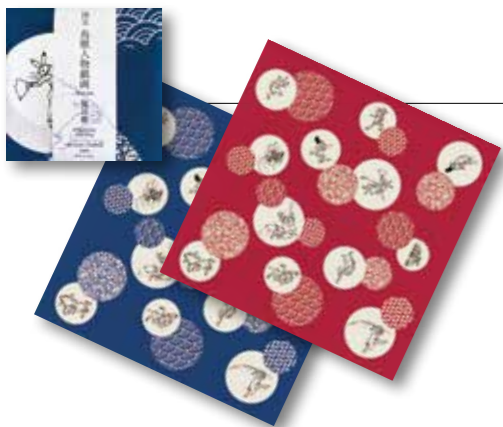
晴れやかな気持ちで新年を迎えるために、避けて通れないのは年末の大掃除。普段は見えて見ぬふりをしていた部屋の隅に手を伸ばしながらホコリを払い、「断捨離！断捨離！」と念じながらもう二度と出番はないであろうものを手放しました。

「断捨離」という言葉は、やましたひでこさんの著書『新・片づけ術 断捨離』(2009)から広まりました。それから少し後に登場したのが、「こんまり」こと近藤麻理恵さんの著書『人生がときめく片づけの魔法』(2010)。やましたさんは「ものへの執着を捨てること」を、近藤さんは「ときめきを基準にものを捨てること」を提案しま

した。そして、令和になってから耳にするようになったのが、「サステナブル」という言葉。環境・社会・経済が将来にわたって持続していくことという風に説明されます。

美しかったり可愛かったり、小さなものに目がない私。捨てることの心地よさを知った今でも、何かを買うときどきめく片づけ、サステナブル。これらがない交ぜにして、丁寧なものに向き合い大切にしよう、という原点に立ち返る新年です。今年も、未永く寄り添える素敵なものとの出会いがありますように。

京都便利堂では、環境への配慮に取り組みとともに、美術を通して日々の生活に豊かで楽しい彩りを添える商品も今年もお届けいたします。



オーガニックコットン小風呂敷 50cm(鳥獣戯画) 全2色 各¥1,100

京都便利堂の小風呂敷は、環境にやさしいオーガニックコットン素材にリニューアルしました。お使い包のまま贈り物としてお渡ししたり、ティッシュケースやペットボトルカバーなどアレンジして使ったり。オンラインショップではさまざまな活用方法を動画で分かりやすく紹介しております。ぜひそちらもご覧ください。



▶プロジェクトについて詳しくはこちら



本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

《春駒を舞う二美人》鈴木春信
江戸時代 東京国立博物館蔵

花頭窓から漂うのは凍てる空気に混ざるかすかな梅の香。その前で二人はお稽古の真っ最中のような様子。踊る娘は手にはめた馬の首型をそおれと高く掲げているところ。たてがみは房に結ばれ、鼻と額は赤いひもで飾られて、馬はよそゆきの風情をしています。彼女は左手にもった紐で三味線に合わせて鈴を鳴らしているのでしょう。両手を上げて身体をひねり、左足を曲げたこのポーズ、なかなか体力がいりそうです。

衝立には大きく富士山が描かれており、お庭の梅も相まって本作にはおめでたい雰囲気が出ています。それもそのはず、「春駒」は獅子舞のようなお正月の門付け芸としてお座敷や歌舞伎に取り入れられ、新年の踊りとして各地へ広まったものでした。もしかすると大晦日あたりなのではないでしょうか。明日の本番に向けて二人は最後のおさらいをしているのかもしれない。

鈴木春信は錦絵の創始者として知られる浮世絵師です。彼は細身で可憐な表情をした美人画を数多く描きました。二人とも一見すると澄まして見えますが、きっとお稽古しながら合間にお茶やおしゃべりも楽しんでいたのだらうと勝手な想像が広がりました。さあ、新しい年が始まります。みなさまの一年が瑞々しい喜びに満ち溢れますよう、心よりお祈り申し上げます。



表紙の絵はがき：年賀状「春駒を舞う二美人」鈴木春信 ¥110



※販売は1月初旬まで

京都便利堂 だより

2026 VOL.23
1/2
新春号

CONTENTS

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー ナカニ	04
季節のごあいさつ	10
美術はがきソムリエの絵はがきマリアージュのススメ	11
【大特集】季節のおすすめ商品 桃山の美術	12
Information	20

2026年 企画・制作・発行 株式会社便利堂
1月1日発行 Director 鈴木 巧
(寄数月発行) Chief Staff 西川 愛
Staff 増尾麻黄 / 渡邊 葵 / 小川朝永

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

便利堂 ものづくり インタビュー

【第23回】

ナカニ ● 注染手ぬぐい

手ごろな商品を通じて美術をより身近に親しんでいただきたい。企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。

今回は、〈魯山人 GONOMI〉手ぬぐいの制作にご協力いただいた「株式会社ナカニ」代表取締役の中尾弘基さんに、明治時代に大阪で生み出された「注染」という染の技法に込めたものづくりへの思いについてお話を伺ってきました。

聞き手・社長室 前田千穂

ナカニさんのやっておられる染物の技術「注染」には長い歴史があるそうですね。

注染自体は戦前からあったのですが、大きな広がりを見せたのは明治36年(1903)、大阪の天王寺で開催された第5回内国勸業博覧会がきっかけでした。そこで注染の技術が賞を取り全国へ広まったんです。今年は大阪万博が開催されましたが、グッズの手ぬぐいを発注いただいて、注染が広まったきっかけである万博で販売できたことは非常に感慨深かったですね。

こちらの工場の周りには晒屋さんが何軒もあるとお聞きしました。全国の浴衣や手ぬぐいの生地は9割



注染は手染めでどれだけ効率よく数を上げるか、それを考えて作られた技術です。裏表が違いなく染まり、手作業でありながら量産できる染めというのは今も注染以外にはありません。

それは知りませんでした。

注染はその名の通り、染料を注いで染める技法です。工程は「糊置き」「染め」「洗い」「干し」に分かれています。一度に手ぬぐい50枚を染めることが出来ますが、裏表がありません。1枚の生地をじゃばら状に重ね合わせ、表から裏から2度に渡り染めるので、手間を少なく、両面ともきれいに染めることができるんです。

布をじゃばら状に重ね合わせるというのは…?

注染では生地を切らずに長いまま染めます。晒2反分を1疋といひ、25メートルの長さを指します。1疋で手ぬぐいが25枚取れるのですが、2疋50枚分を一度に作業します。1疋のつながった状態の晒生地の表に柄の型を置いてへらで糊を載せませす(糊置き)。これによって糊がある所は染料を弾き、糊がない部分のみが染まります。これを手ぬぐいのサイズである90センチのところで折り返してじゃばらに重ねていくんです。折りたたむことで生地の裏には糊を載せなくとも、裏に糊を渡してやれる。へらのサイズなどもそうですが、糊置きの場合、一人で作業ができて、生地をたたんで重ねていくので場所をとらないなど、どの工程も非常に効率が考えられています。帆幅と呼ばれる手ぬぐいの幅のサイズも絶妙

(下) 糊置きを繰り返して行い、じゃばらに折り返してたたんで重ねていく

注染は 手染めでどれだけ効率よく数を上げるか、 それを考えて作られた技術です。

は1回堺を通っているとされるが、今、晒屋は10軒あつてそれで全国の9割をまかなっています。泉州では古くから木綿の栽培が盛んで木綿問屋が数多くあり、そこから晒業や注染の技術が発達しました。そうしたことから泉州には全国からの注文を取り仕切る産地問屋があり、そこが晒屋や染屋それぞれに発注するんですよ。だからもともと私たちも完全に下請けの会社だったんです。スタートの頃は販売なんて一切やってこなかったですね。

ナカニさんが注染を始められたのはどんなきっかけだったのですか？
私は婿養子なんですけど、戦後、うちの創業者である義祖父の兄が大阪の本町で繊維を売る会社を立ち上げたんです。そこで「兄はものを売るから弟はものを作れ」となったのが創業のきっかけだと聞いています。義祖父がこの地域の出身なので手ぬぐいにはなじみがあったんでしょう。戦後の荒れた時代、お商売をみんなが始めたあの頃にうちは注染を選んだ。ナカニという名前は「ナカオ」と「ナカノ」の二人で始めたからなんです。

そうだったんですね。注染の特徴について教えてくださいませんか。

ナカニが培った注染の技術と作家やデザイナーの感性を掛け合わせ、「にじみ」や「ゆらぎ」を活かしたやさしい色合いの手ぬぐいを販売する専門店。注染の伝統技法を未来へ遺すため手ぬぐいの新たな使い方を提案している。現在、大阪・京都・神戸・東京に6店舗を展開



注染手ぬぐい にじみゆら

〈魯山人 GONOMI〉シリーズの新品「注染手ぬぐい」の〈皿下絵〉柄の作業風景
(上) 糊置き：生地の表に柄の型を置いてへらで糊を載せる



で、この幅がもっと広ければ一人でへらを持ってなかつたはずですよ。知れば知るほど注染は合理的な技術で、だからこそいまだに残っているのでしょう。

——工場の中はどことなく海のような匂いがしますね…？

うちでは創業当時から変わらず、土と水に「ふのり」という海藻の粉を混ぜて糊を作っているんですよ。自然由来ですから水でばしゃばしゃ洗うと糊は落ちます。昔は工場の前の石津川で洗っていたので、今でもおぼあちゃんたちには「私らが若い頃は石津川も色んな色してたわ」と言われます。工場内にある洗いのことを今も「川」と呼んでいるのはその名残です。

——糊置きの際は「染め」ですね。

この〈皿下絵〉のデザインは単色ではなく、グラデーションやぼかしが随所に入っていますよね。だから注いだ染料が横へ流れてしまわないよう土手を作るんです。足元のレバーを踏むと注いだ染料が下からエアポンプで吸い込まれ、重ねた生地の上から下まで通ってしっかりと染められる。まず表から染めて、それをお好み焼きのようにひっくり返して裏からも染めまします。こうすることで重ねた生地がほぼ均一に仕上がるんです。

——職人さんには若い方もたくさんいらつしやいますね。

おかげさまで「やりたい」と来てくれた人たちがばかりです。ありがたいことにじゆらが好きだから携わりたかったと言ってくれた人もいます。修行にはやはり5年くらいはかかるのでしょうか。3年くらい経つとだんだんと戦力になる感じですね。

——さて、今回便利堂がお願いした〈魯山人GNOMI〉手ぬぐいは、いずれも北大路魯山人が星岡茶寮で働く女中さんのために描いた浴衣の図案が元になっています。

職人やデザイナーには魯山人に興味を持っている者も多いのでいつも以上に気合を入れてやらせていただいたよ

——なるほど。おや、職人さんの後ろにはたくさんの手ぬぐいが積み重なっていますね。

これは全部彼の色見本です。染めの職人はデザインを見ると頭の中で「どうやったらこの色が出せるだろう」とこれまでの経験を踏まえて考えます。見本通りに色が出ていると思っいても染めの段階では確認すること出来ない。乾かして手ぬぐいとしてカットされた状態で見て、初めて見本通りかどうかの答え合わせができるんです。そこが怖いところですよ。

——どの工程にも人の手が感じられます。青のグラデーションが美しいですね。柄が生きて見えます。

きれいに出来ましたね。色の「にじみ」や「ゆらぎ」は注染の大きな特徴です。グラデーションには相性のよい色があるんですが、そういうことはやはり経験からしかわからない。だからうちではデザイナーと職人が「これならいい」「これだとちよつと汚くなるかも」など、やりとりを密に行っています。ただ、こうしたぼかしやグラデーションが注染ならではの「味」として当たり前前に受け入れていただくようになったのはここ15年ほどでしょうか。

——昔はどうだったんですか？

職人やデザイナーには魯山人に興味を持っている者も多いのでいつも以上に気合を入れてやらせていただいたようですよ。

色の「にじみ」や「ゆらぎ」は注染の大きな特徴です。



B品扱いされていました。失敗とみなされて褒められることはなかったんですよ。現在会長を務めている義父は30年くらい下請けのものづくりをやってきて「おもしろくなかった」と言っていましたね。私たちが17年前に新しく「にじゆら」というブランドを立ち上げたのは、会長が「にじみ、ゆらぎが注染の味なのにB品扱いされるのはおかしい。ならばそれを逆手にとって注染の特徴を活かしたブランドをやろう」と考えたのがきっかけです。当時は工場がブランドをやるということ自体まだ少なかったこともあり、メディアにも取り上げていただきました。

——「にじみ」と「ゆらぎ」でにじゆらさん。すてきなお名前です。

にじみはNGでしたから、17年くらい前までは注染でもにじまないようなパキッとさせているものが多かったと思いますが、結局はプリントものと違いがないためにそのままでは値段を上げられなかったんです。うちの工場は当時60〜70代の職人が多かったんですが、先々を考えると若い職人を育てないといけないし、利益も取らないといけません。だったらそもそも若い人に興味を持ってもらわないと意味がないということ、にじゆらのブランドは30代女性をターゲットにしたんです。

復刻のような雰囲気があります。

生地の色がベージュなんです。白地ですと夏に限定されるといふか季節感が出てしましますが、上に載せた色がピンクや黄色のパステル系ですから、ベージュを選ぶことでレトロな雰囲気を残しつつ、新しさも感じていただけりかなと提案させていただきました。

——随所にこだわりがあります。

染め型は3Dプリンタで製作するのですが、この線の細さを活かすため、染め型のデータ調整が難しかったところはありますね。どこまでこの線を修正するのか、最初の時点で悩みました。糊置き段階で糊がついていたら線は残りますが、染めでは重ねると線がつぶれてしまうかもしれない。魯山人の図案をまずはどう注染のデザインへ落とし込むのか、色合いは落ち着いた雰囲気にするのか、明るくするのかなど、そのあたりのバランスを取って今回の配色になりました。

——おすすめの使い方は？

なんととっても手ぬぐいは湯気が早いんです。それはつまり雑菌が繁殖しづらいということ。衛生的ですからお台所で使っていたくのに比べてはびつたりです。使い込んでいくとどんどんしなやかに柔らかく育っていきますし、10

染め：染料が横へ流れてしまわないよう「土手」を作って注ぐ(写真はひっくり返して裏から再度染料を注いでいるところ)。後ろの棚には、色の仕上がりがサンプルとなる「色見本」が積まれている



うですよ。色付けを考えたデザイナーもこれはすごくいい手ぬぐいだと話していました。うちの企画の者たちも古いものが好きな人が多いですし、青海波や豆絞りなど昔からの伝統文様を現代風のデザインに落とし込むというのをやっています。この〈皿下絵〉にしても、やっぱりいいデザインは時代関係なく人気なんだと思いますね。

——図案は魯山人ですが、色付け次第で印象が大きく変わりますね。

この〈格子〉の手ぬぐいには柄のポテンシャルを感じました。赤の色はぼかしくいこともあってなめらかなグラデーションを出すのが難しいんですが、うんうん、きれいにできていますね。これも注染ならではの染め方なんです。にじみやゆらぎはもろに偶然生まれるところもありますが、ぼかしの加減も難しいものなんです。昔の手ぬぐいは色も柄も単純でしたけど、こんな風に凝った柄になると一枚仕上げるのに染めだけで30分から1時間くらいかかったりする。ていねいに作業しつつスピード感も大切ですから、職人たちの技術にはリスペクトしかありません。私にはできませんから。

——〈しづく〉にはレトロな色柄の



毎日の暮らしに少しのこだわりを

魯山人 GONOMI

RO SAN JIN

シリーズ



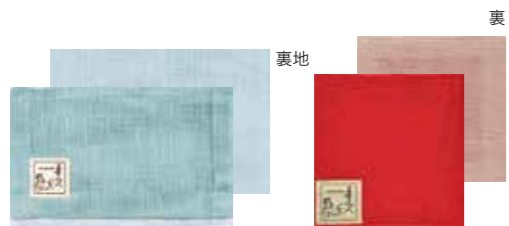
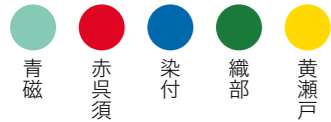
《魯山人GONOMI》は、
魯山人をモチーフに日々の生活を
ちよっと美的に彩るシリーズです。

陶芸・書・画を手掛け
食を通じて美を追求した
北大路魯山人。
便利堂四代目・中村竹四郎が経営した
料亭「星岡茶寮」では
顧問・料理長として
その才能が遺憾無く発揮されました。



《色あわせかやシリーズ》7アイテム 各全5色

魯山人が食を彩る器として愛したやきものを、色あわせで表現しました。表と裏で、ほんのりやきものの雰囲気を感じていただけます。
※他にも、お台拭き(¥990)、大判ふきん(¥1,100)がございます。



懐紙入れ
10×17cm 各¥2,200

コースター
10×10cm 各¥880

お手拭き
37×37cm 各¥770

野菜袋 (M)
24.5×21cm 各¥935

野菜袋 (L)
30×27cm 各¥1,320

《魯山人の絵シリーズ》7アイテム

魯山人の残した作品をモチーフにした風雅な逸品です。



懐紙
全2種 30枚入(2柄各15枚)
各¥550



和紙ランチマット
全2種 10枚入(5柄各2枚)
26×38cm 各¥1,650

※他にも、杉箸セット、手彫り箸置き、耳付き和紙はがき(コロタイプ刷)、ぼち袋がございます。

和紙レターセット
全4種 コロタイプ刷 約B5判
便箋: 2柄各4枚 / 封筒: 2柄各2枚 各¥1,650



プレゼントにはギフトセットも



(上) 洗い: 染めがひと通り終わると「川」と呼ばれる洗い場で余分な染料を洗い流す
(下) 干し: 十分に水洗いした生地を天日状態の乾燥室で乾燥。昔は天日干ししていた



年くらい使っている人もいますから意外と丈夫なんです。インテリアのファブリックとしてタペストリーのようには飾るのもお部屋の雰囲気を簡単に換えられるのでおすすめです。

—— こうした技術を未来へつなげていくために、ナカニさんではどんなことをされていますか？

注染の業界もコロナ以降、職人が4割くらい減っています。2021年頃、仕事が9割なくなっていました。昔この辺りには注染工場が50軒あったんですがそれが今や3軒です。技術を未来へ遺すためにはやっぱりものづくりをコツコツ続けていくしかありません。そのためにはやはり職人を育てていきたい。その意味でも直営店を持つことは大事だったと実感しています。

魯山人 GONOMI シリーズ

NEW



注染手ぬぐい
約91×37cm 全3種 各¥2,420

反物の晒生地を薄いベージュ色に染めた後に注染で図柄の染めを行っています。デザインは、魯山人の描いた浴衣柄の圖案スケッチを元に現代にもフィットする色あわせで着彩しています。キッチンをはじめ、様々な暮らしのシーンで使って楽しいちよっとこだわりの手ぬぐいです。

お客さまの反応もリアルにわかりますし、売ることを他の人に任せてしまおうと伝わり方も変わってしまう。店があることで「これを作ってみよう」と職人を志してくれる人もいますから。

—— 今日おじゃまさせていたいただいて、技術はもちろんですがこの建物にもわくわくしました。

そうですね。うちの歴史は60年くらいですが「ハウルの動く城」みたいだとよく言われます。60年の間、建物を継ぎ足して継ぎ足して今に至りますからね。泥臭くやっていますよ。

—— 工場見学もされてるんですね。

年に2回工場見学会をやっています。そのなかで「商品が好きでファンになったけど、見学したらどれだけ手間をかけて作られているのかわかった」という声をかけていただくことがあります。間近でグラデーションの作り方などを見ていただいたりすると、やはり手ぬぐいにもすごく愛着がわくのだそうです。ありがたいですね。

—— 最後に、これからの抱負を教えてください。

婿養子としてここへきて10数年、ものづくりはやっぱりおもしろいものです。でもそれは現場の職人やデザイナー、販売の人たちも含めてみんながうまくやってくれているからこそ。ナカニとして、にじゆらとして、手ぬぐいをお客さんに届けられているのは、うちで働く人がいてくれるから出ていると思うています。そもそもデザイナーも現場もそうですが、うちのものづくりは人によるところがめちゃくちゃ大きい。つまりナカニにとってはなにより人が大事なんです。ですから私はこれからも「ものづくり」というより「ひとづくり」という思いを大切にやっていこうと思っています。

※過去にメルマガで配信したインタビューのバックナンバーはこちら



成人の日

毎年1月の第2月曜日

「手紙なんてちょっとおかげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよつと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

Season Greetings vol.23



〈重要文化財 松鷹図〉雪村

【カードの文例】

18歳から“大人”へ
令和4年、民法の改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。明治29年の民法制定以来、約140年ぶりの大きな変更です。18歳を迎えると高校生であっても選挙権をもち、親の同意なしに自らの意思で契約できるようになります。当時こうした変化について社会的に大きな話題となり、様々な議論が交わされたのは記憶に新しいところです。

時代とともに変わる“大人”の定義
そもそも“大人”とされる年齢や、その定義は時代とともに移り変わってきました。奈良時代から江戸時代

までは、「元服」という通過儀礼によって大人として認められました。元服は、公家や武家、階級・性別・地域によって違いはあるものの、概ね11歳から17歳の頃に執り行われていたとされています。明治に入ると元服の習慣は廃れ、前述の民法制定で満20歳が成年と明文化されました。戦後に制定された成人の日は、かつて元服の儀が小正月に行われていたことから1月15日とされていたが、平成12年以降、1月の第2月曜日に変更されました。今年も1月12日が成人の日です。現在のよう

新成人の応援に最適



グリーティングカード
〈重文 鶴下絵三十六歌仙和歌巻〉
書：本阿弥光悦 画：俵屋宗達

成人の日に添えるカードにピッタリな飛翔する鶴の作品はいかがでしょう。



〈鶴下絵三十六歌仙和歌巻〉の商品はこちら

絵はがきソムリエのススメ

絵はがきを飾ろう！ ●「美術はがき」がある暮らし
美術はがきソムリエの

今月のお題：新春とウェーブ型はがき立て

京都便利堂本店にお越しいただくとお料理とワインのマリアージュを楽しむように季節のしつらえにピッタリの絵はがきを美術はがきソムリエと一緒に選ぶ楽しさを体験していただけます。このコーナーでは、誌上体験版として季節の絵はがきとディスプレイアイテムのオススメマリアージュをご紹介します。

季節のおすすめを誌上大公開！
美術はがきソムリエ 増尾麻黄



ウェーブ型はがき立て

2色(赤/黒) ¥2,420
ウェーブ型のモダンなデザインで絵はがきをインテリアとして楽しむのにピッタリです。
サイズ/5.0×15.0cm
仕様/素材：木材(シナ合板)・カシュー塗料・紙箱入



増…今号から始まりました新コーナー！ソムリエのノウハウを総動員して、飾って楽しむ季節のおすすめのマリアージュをご紹介しますよ。
安…早速、この時期のイチ押しは？私は最近めつきり見る機会が減ってしまった獅子舞ですが、邪気を払い災難を避けるといわれ年初めにおすすめです。これにウェーブ型はがき立ての赤を合わせると、新春らしい華やかさが簡単に演出できます。
増…溝に絵はがきを差し込むだけで飾れますし、このウェーブが上品なんですよね。私はシックに黒に吉祥柄、鶴下絵三十六歌仙和歌巻を合わせてみました。本来はメッセージが書けるように余白のあるデザインですが、飾ると透明感が出て好きです。

店頭でお好みをお聞かせください！

美術はがきソムリエ 安野美奈子



3



4

- 1 《獅子舞之図》神坂雪佳
- 2 《重要文化財 鶴下絵三十六歌仙和歌巻(部分)》書：本阿弥光悦 画：俵屋宗達 京都国立博物館
- 3 《サーカス(曲馬)》川西英
- 4 《牡丹》福田平八郎
- 5 《花卉図画帖 白梅》中村芳中 細見美術館
- 6 《雪戯美人図》醉夢亭蕉鹿
- 7 《冬椿に雀図》歌川広重
- 8 《東京二十景・芝増上寺》川瀬巴水 東京都江戸東京博物館



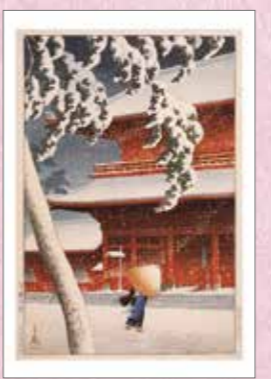
5



6



7



8

3・4 京都国立近代美術館
6・7 東京国立博物館
すべて¥110



美術はがきソムリエからの定期便 琳派—継承の美

定期便シリーズはこちらから！



- 毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。
- 月々わずか1,000円(税・送料込)
■半年間6,000円：月々1,000円(税・送料込)×6ヶ月※
- 今回も特典が盛り沢山！
 - ①毎回、琳派の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き
 - ②全6回一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)



- ③さらにもれなく2大プレゼント
 - ◆初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉
 - ◆最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄PHONE STICKER〉(定価385円)をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々払いはクレジットのみとなります。くわしくは専用サイトをご確認ください。

桃山の美術

今年大注目なのが「安土桃山時代」。
この乱世の戦国時代を背景に、権力者の庇護のもと
豪華華麗な絵画様式が開花しました。
そんな激動の時代に誕生した絢爛豪華な桃山の美術を
是非、便利堂の美術商品でお楽しみください。

狩野永徳 (かのうえいとく)

天文 12 ~ 天正 18 (1543-90)

安土桃山時代を代表する画家です。織田信長・豊臣秀吉ら時の権力者に重用され、安土城・大坂城・聚楽第など、当代を代表する建造物の障壁画を全て指導しました。戦乱で失われたため、現存する障壁画の作品は多くありません。

縮小屏風 〈国宝 唐獅子図〉 皇居三の丸尚蔵館

6曲1隻 25.5 × 50.5cm ¥7,700
雌雄2頭の唐獅子が、威風堂々と岩間をのし歩く姿を大胆な筆致で描いています。本作は、秀吉が毛利との講和の記念に贈った陣屋屏風でした。明治期に毛利家より皇室に献上され、2021年に国宝に指定されました。

【桃山美術とは】

桃山美術は、安土桃山時代(1573 ~ 1603)に栄えた日本の美術様式を指します。この時期は、戦国時代の終結とともに、豊臣秀吉やその後の徳川家康が支配する時代の移行期にあたり、政治的な安定とともに美術の発展が加速しました。特に、権威の象徴として築かれた壮大な城郭の内部空間を飾るために、金箔を多用した豪華な障壁画や屏風などの絵画が制作されました。一方、茶の湯の流行に代表されるわびの精神に基づく芸術も発展しました。また、海外交易の影響を受けた南蛮美術もこの時代の特徴の一つです。



縮小屏風 〈国宝 檜図〉 東京国立博物館

4曲1双 各 29.2 × 39.8cm ¥14,300
もとは豊臣秀吉が創立を奏請した八条宮家御殿の室内を飾った襖絵といわれ、本屏風右隻四扇に残る引手金具の跡からも、もと4枚引きの襖絵であったと想像されます。その雄大な構成や放胆な描法など、遺例の少ない桃山前期障壁画の代表作であり、きわめて価値の高い作品です。



〈絵はがき〉

各種 ¥110から
桃山美術の単品絵はがきも取り揃えています。充実のラインナップからお気に入りを見つけてみては



桃山美術の商品はこちら



縮小屏風
〈**国宝 松林図**〉 東京国立博物館

6曲1双 玻璃版(コロタイプ単色刷)
各 22.0 × 47.5cm ¥9,350

等伯の代表作で、近世水墨画の最高傑作です。牧谿(もっけい、南宋の画人)の画風にならい、毛筆のほかに藁筆なども用い、煙雨に霞む松林の景観を大画面に水墨一色で描き表しています。その簡潔な構図や鋭い筆致、巧みな墨色の変化などの新鮮な表現は、桃山時代の新感覚を示すものです。

長谷川等伯 (はせがわ とうはく)

天文8～慶長15 (1539-1610)

能登七尾(石川県)生まれ。長谷川派の祖。はじめは仏画を中心に制作をしていました。のちに京都へ出て雪舟へと傾倒し、宋元画、牧谿様式を学び、水墨画を中心に独自の画境を開きます。

A4クリアファイル/一筆箋
〈**重要文化財 雲龍図**〉 建仁寺

A4クリアファイル ¥330 / 一筆箋 ¥440

海北友松 (かいほう ゆうしょう)

天文2～慶長20 (1533-1615)

近江(滋賀県)生まれ。京に出て狩野派に学ぶ一方、宋元画を研究し、梁楷(りょうかい)に減筆描法を学びます。和歌や連歌、茶の湯にも通じる高い教養を備えた文化人でした。



ほかにもおすすめ商品が
盛りだくさん!



狩野秀頼 (かのう ひでより)

生没年不詳

縮小屏風
〈**国宝 観楓図**〉 東京国立博物館

6曲1隻 29.5 × 68.5cm ¥11,000

紅葉の名所として名高い京都洛北の高雄。遠く雲間に神護寺の伽藍や、雪の愛宕社も望むなか、清滝川のほとりで紅葉狩を楽しむ人々の姿が生き生きと描かれています。紅葉の美しさとともに、人々の楽しい遊楽の様子をご覧ください。



金沢文庫本

NEW 2025年11月10日発売

萬葉集巻第十二第十三

限定一五〇部

玻璃彩版(多色刷コロタイプ)原寸大複製

監修・編集委員：田中大士(編集主幹、日本女子大学教授、前上代文学会代表理事)

乾 善彦(関西大学教授、前萬葉学会代表)

新沢典子(慶應義塾大学教授)

万葉集とは、奈良時代末期に成立したとされる現存するわが国最古の歌集です。全20巻からなり、約4500首の歌が収められています。

古典の多くがそうであるように、万葉集もいつしか原本は失われてしまい、平安時代より繰り返し返されてきた書写によってその内容が伝えられてきました。

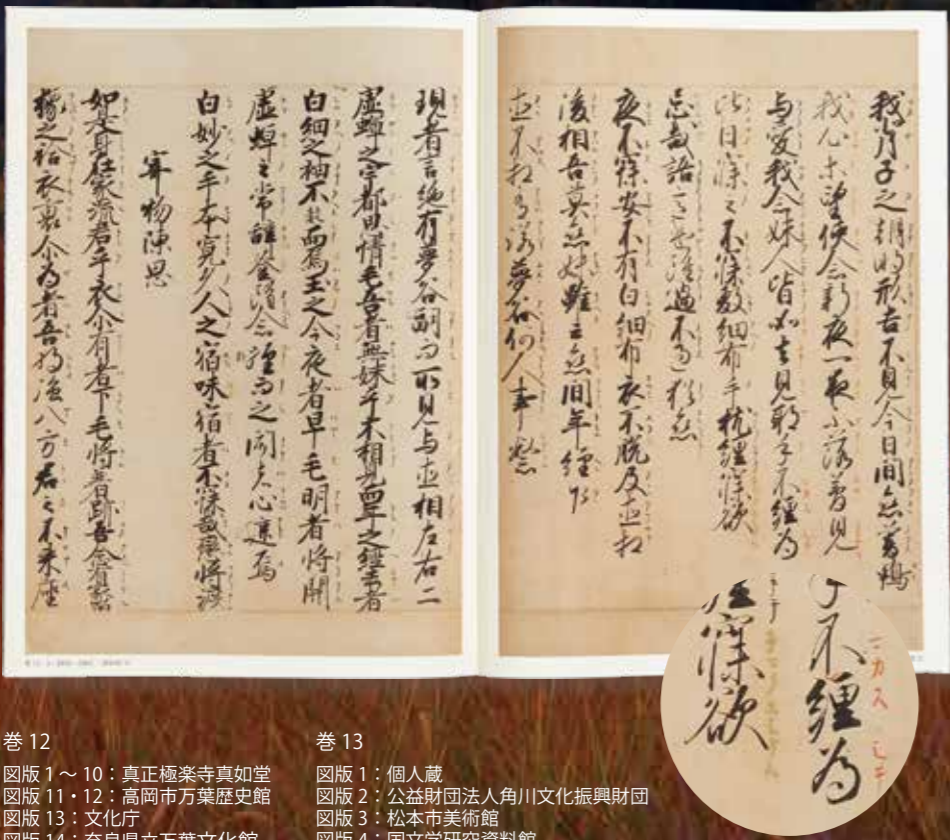
しかし、手で写される写本は写し誤りが起こります。鎌倉時代にこの諸写本を校訂し、本来の姿に復元しようとしたのが仙覚(1203〜1273)でした。仙覚は、寛元5年(1247)に最初の校訂本(寛元本)を完成させましたが、それに満足せず、さらに約20年後の文永2年(1265)に新たな方針の元、第2次校訂本(文永本)を完成させました。

現在、その仙覚が作った寛元本も文永本も原本は遺っていませんが、それらの書写本は数多く遺り、これによって我々は『万葉集』を欠けることなく完全な形で知ることができま

す。『金沢文庫本万葉集』は、この文永本系に属する写本の一つですが、数巻しか遺っていない残欠本であることから、従来はあまり注目されない伝本でした。しかしながら、最新の研究で金沢文庫本には文永本の中でもより古い形態を留めていることがわかってきました。これにより、今まで明らかになっていたいなかった寛元本から文永本に至る移行過程を説明することができ重要な資料として注目を集めています。

このたび便利堂では、これからの万葉集研究に資するため、『金沢文庫本万葉集巻十二巻十三 玻璃彩版原寸大複製』を刊行することといたしました。本複製は、現在遺っている金沢文庫本のうち、真正極楽寺 真如堂に伝わる巻12全巻を複製するとともに、諸家に分蔵される巻12と巻13の断簡を合わせて収録し、1冊とするものです。

複製本文



仙覚の独自訓である紺青訓が色鮮やかに残っているのが金沢文庫本の特色です。

- 巻12 図版1~10: 真正極楽寺真如堂 図版11・12: 高岡市万葉歴史館 図版13: 文化庁 図版14: 奈良県立万葉文化館 図版15: 徳川美術館
- 巻13 図版1: 個人蔵 図版2: 公益財団法人角川文化振興財団 図版3: 松本市美術館 図版4: 国文学研究資料館 図版5・6: 高岡市万葉歴史館 図版7・8・10: 天理大学附属天理図書館 図版9: 石川県立美術館

■有識者からの推薦文(敬称略)

知の営みを誘う

渡部泰明(東京大学名誉教授・国文学研究資料館館長)

このたび、京都真如堂に所蔵される金沢文庫本『万葉集』の複製が、精細なコロタイプ印刷によって出版されることになった。しかも斯界の大家、田中大士氏が監修され、解説を付されるという。まことに最適な人材による、我々にとって僥倖というべき出版である。氏には、すでに「金沢文庫本万葉集系統論序説」(『萬葉』第百三十一号、二〇二一・三)なる論文がある。この論考は、金沢文庫本を改めて位置づけなおし、その価値を再発見したといっても過言ではない。一千年を越える昔から、『万葉集』はその時代その時代の要請に促されて、相貌を改めながら再生してきた。作品自体はもちろん、その再生の軌跡さえも、後の人々の知の営みを喚起し続けた。金沢文庫本の細やかで信頼度の高い書写から匂い立つもの。一字一言の背後にある、いまだ知られざる知性や感性のあり方が、我々の探究心を誘ってやまない。

複製本の価値

鉄野昌弘(東京大学名誉教授・萬葉学会代表)

大学院生時代、西本願寺本『萬葉集』の複製をつくる手伝いをしたことがある。カラー版の高価な複製は既に刊行されていたが、白黒の影印に翻刻を付けた廉価版をつくるのだった。しかし訓や声点の色をどう書き分けたものか。会議でも紛糾し、ともあれ原本を見なければ、という話になり、二回見せてもらった。無論、自分で触れることは許されず、次の帖に移る際には、館員にめくってもらった。それでも、ガラスを隔てずに原本を見る得難い機会だったと思う。

今は、デジタル技術が進み、画像によって拡大し、肉眼で見ると詳細に見ることも出来る。しかしそのために原本を拝むことはかえって難しくもなった。本物の持つ気品や質感は、画像では伝わらない。精巧な複製は、そうした言語化の難しい情報をも伝える独自の価値を持つ。

諸本研究は、『萬葉集』研究の中でも近年、最も進展した分野である。この金沢文庫本『萬葉集』複製の監修者たちは、それを牽引して来た。本複製は、その研究をますます前進させるに相違ない。

共有財産

大浦誠士(専修大学教授・上代文学会代表理事)

大学院の演習などで万葉歌の講読を行うとき、自分たちは何を読んでいるのかを常に意識するように促している。ややもすると既成の万葉集テキストの読解に陥りがちだからである。奈良時代に成立した万葉集はもろろん残っていない。それを私たちに伝えてくれるのは写本・版本などの諸本である。演習においては『校本万葉集』も活用はするが、様々な複製や影印で実際の文字に触れる時の学生達の目の輝きは格別である。

『校本万葉集』の刊行から一〇〇年を迎えた。諸本研究はあらゆる万葉集研究の土台となる研究である。それを推し進めてきた碩学の方々による金沢文庫本『万葉集』の複製、しかも高度な技術による複製は、全ての研究者の共有財産であり、新たな諸本研究への扉となるに違いない。

息づかいを感じる複製本が…

上野 誠(奈良大学名誉教授・國學院大學教授(特別専任))

不勉強な私は、諸本間に文字の異同がある場合、『校本万葉集』を見て、「ふむふむ」というところで終わってしまう。そんな私でも、展観で諸本が出る

と聞けば、必ず行くことにしている。筆写とはいっても、筆写された時代の学問知があり、美意識があるのであって、その伝本全体の様子を少しでも知りたいと思うからである。以上の意味において、今回の複製本の製作は慶賀に堪えない。なぜならば、心ゆくまで手に取って、その筆遣いまでも学ぶことができるからである。

この二十一年で、デジタル公開も進み、諸本の比較が容易になったことよって、『万葉集』の伝本研究は大きく進展した。編集は、畏敬してやまない練達の師たち、書肆もまた老舗とあって、またよし。新見を含む解説を手引きとして、その息づかいをいち早く感じたい、と思う。

- 書形 / 縦 34.5 × 横 25.5cm
- 装丁 / 和本袋綴装
- 本文 / 11丁、コロタイプ5色刷
- 解説 / A5判、並製本
- 外装 : 化粧箱入り

ISBN : 978-4-89273-115-0

は京都

全20はん 各1,320円

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラツペラとコラボレーションした新しいカードシリーズ。「京都のさまざまなもの」をモチーフにツペラツペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラーコトタイプ技術でプリントした「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番です。〈京都はん〉の「はん」は「版画」と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

京都便利堂 × tuperatuperatupa



photo: Shingo Mitsuno

tuperatuperatupa 亀山達矢さんと中川敦子さんによるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』など著書多数。NHK Eテレ「ノゾミのひらめき工房」のアートディレクションも担当。

「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番



便利堂本店では全種 公式オンラインでは〈舞妓はん〉〈京都タワーはん〉の2種が購入いただけます。

市内20か所のサテライトショップで各1種の〈京都はん〉を販売中

〈京都はん〉まち歩きMAPで京都めぐりをしよう！

さまざまなお顔を持つ〈京都はん〉は全20種類。市内20店舗のサテライトショップにて各1種類の〈京都はん〉を販売しています。全種を集める京都めぐりもよし、お気に入りの1枚を求めて訪ねてもよし。各店であなたとの出会いをお待ちしています。サテライトショップ情報を掲載した専用スマホ地図「京都はんまち歩きMAP」をご用意しています。



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました！

現在3コースをご用意。お好みをお選びください！



増尾麻黄(ますお・あさぎ) 京都便利堂直営ショップスーパーバイザー。絵はがきを通して堅苦しいイメージがある美術品や美術の世界を身近に感じてもらえると思います。

〈美術はがき定期便〉は、私たちが毎月テーマを決めて、それにピッタリな絵はがきを選んで、お得なセット価格で皆さまにお届けする趣向です。絵はがきを使う派、コレクション派、飾る派はもちろん、美術には興味があるけど詳しくない、という方にも、ちょっとした「学び直し」の機会になればいいと思います。

税込、送料込。いつでも解約できます！



安野美奈子(やすの・みなこ) 京都便利堂本店店長。ご来店の際は、店頭にはない絵はがきもご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

便利堂の絵はがきは千種を超えますから、自分で選ばないような、思いがけないものが届く楽しみもありますね。お届けした絵はがきをきっかけに「今度は本物を見に行こう」と旅が始まるかもしれない。この定期便がそんな出会いの機会になれば素敵です。

※定期便各コースはすべて異なる商品を収録しています。※内容は予告なく変更になる場合があります。

●毎月のお届け内容：コロタイプ絵はがき〈季趣五題〉を含む絵はがき10枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん
もれなく、11月に〈わたしだけの絵はがきカレンダー2026〉(定価300円)、最終お届け月に、絵はがき全120枚が収納できる〈定期便特製コレクションボックス〉をプレゼント
さらに一括払いでのお申し込みの方に〈ワイヤー絵はがき立て〉(629円)をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格 1,675円 / 20,100円のところ

都度払い 1,200円 / 一括払い 14,400円

■1年間 14,400円：月々 1,200円(税・送料込) × 12ヶ月

毎月1回 全12回 1年コース

●ラインナップ

- 1月 〈よき塩梅〉
- 2月 〈桜梅桃李〉
- 3月 〈春のうたげ〉
- 4月 〈清明〉
- 5月 〈青時雨〉
- 6月 〈うつうつそう〉
- 7月 〈清々しい「青」〉
- 8月 〈夏バテを吹き飛ばす!〉
- 9月 〈秋の夜長に〉
- 10月 〈はらべこ美術めぐり〉
- 11月 〈烏兔匆匆〉
- 12月 〈はなむけの一葉〉

毎月23日 毎月ふみの日に届く
「美術はがき」のある暮らし
美術はがきソムリエからの定期便

※途中解約はいつでも可能です。月々の都度払いはクレジットのみとなります。くわしくは専用サイトをご確認ください。

●毎月のお届け内容：長型はがき(6回計14枚)を含む絵はがき8枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん
もれなく、初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉、最終お届け月に、「抗ウイルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄 PHONE STICHER〉(定価385円)をプレゼント
さらに一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格(平均) 1,273円 / 7,640円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間 6,000円：月々 1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 〈受け継がれる意匠 ～金と色彩～〉
- 2/8月 〈琳派の源流 ～本阿弥光悦と俵屋宗達～〉
- 3/9月 〈琳派の水墨 ～墨と筆の表現～〉
- 4/10月 〈花ひらく琳派 ～尾形光琳と乾山～〉
- 5/11月 〈受け継がれる意匠 ～草花図一変奏の系譜～〉
- 6/12月 〈江戸琳派 ～酒井抱一と鈴木其一～〉

毎月1回 全6回 半年コース

●毎月のお届け内容：絵はがき8枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん
もれなく、初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉、最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵A5変形クリアファイル〉(定価385円)をプレゼント
さらに一括払いでのお申し込みの方に〈プッシュピン式絵はがき立て〉をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格 1,180円 / 7,080円のところ

都度払い 1,000円 / 一括払い 6,000円

■半年間 6,000円：月々 1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 〈美人画クロニクル ～春信、歌麿から英泉へ～〉
- 2/8月 〈北斎と広重 ～200年前の日本の風景～〉
- 3/9月 〈掌の芸術 ～摺物と版本の魅力～〉
- 4/10月 〈幕末から明治へ ～国芳・暁斎・芳年と新版画～〉
- 5/11月 〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界～〉
- 6/12月 〈歌麿と写楽 ～仕掛け人・葛屋重三郎～〉

浮世絵だけの深掘り半年プラン

毎月1回 全6回 半年コース

琳派—継承の美

琳派だけの深掘り半年プラン



Information

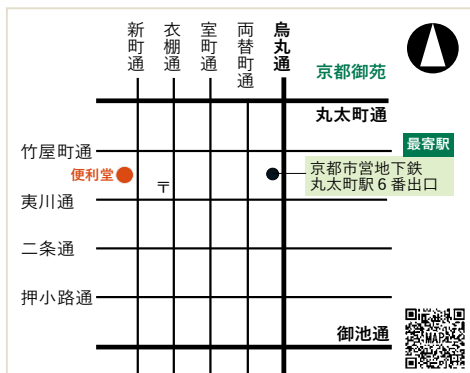
京都便利堂本店

年始は 1/5 より営業、各種キャンペーンをご用意しております。

便利堂本社 1F には、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00
【定休日】 日・祝日・年末年始
【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido
twitter@kyotobenrido
facebook@kyotobenrido.shop



【アクセス】

〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ◎番出口より徒歩7分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩5分

〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から15分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

コロナタイプギャラリー

便利堂コロナタイプギャラリー早春季企画展示

〈金沢文庫本万葉集巻第12第13〉原寸大複製刊行記念《複製で見る文学作品》展



京都便利堂本店がある便利堂本社には、年間を通じてさまざまなコロナタイプ作品を展示する〈コロナタイプギャラリー〉が併設されています。現在、〈金沢文庫本万葉集巻第12第13〉原寸大複製の刊行を記念して、戦前より便利堂が制作した国宝を始めとする文学資料の原寸大複製を好評展覧中です。

会期：2025年12月24日(水)～26年4月4日(土)
開廊：10:00～12:00/13:00～17:00
休廊：日・祝日(年末年始：12月30日～1月4日)
入場：無料